

第9回熊野川の総合的な治水対策協議会
猿谷ダムの堆砂状況について

国土交通省 近畿地方整備局
紀の川ダム統合管理事務所

平成27年 7月 3日

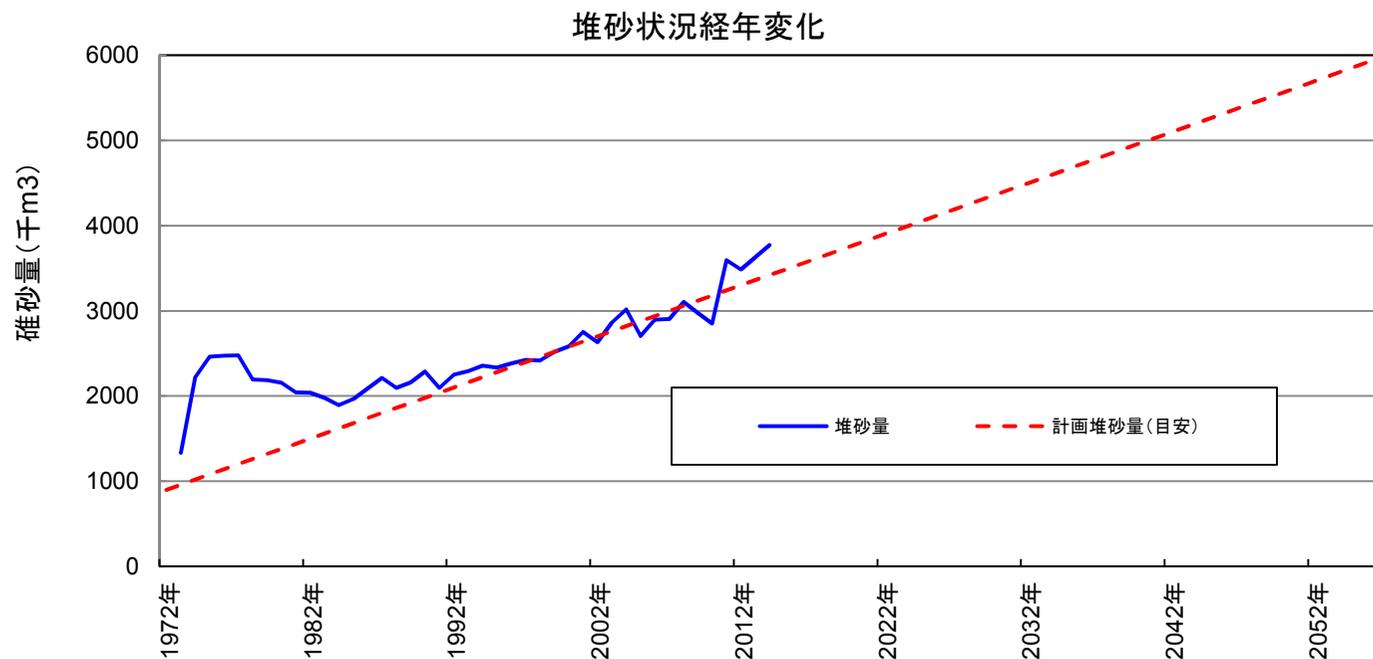
猿谷ダムの堆砂状況と対応策について

●堆砂実績の推移

猿谷ダムの堆砂量の経年変化は下図のとおり。現在、管理開始から58年（平成26年度末現在）が経過し、総堆砂量は3,774千 m^3 であり、堆砂率が62.9%となっている。

●平成26年出水の影響

平成26年は146千 m^3 の土砂が堆積した。年間計画堆砂量約60千 m^3 と比べると多い状況。平成23年台風12号出水以降、1,000 m^3/s を超える出水では同じ傾向が続いている。



計画堆砂量とは、100年間（1958年～2058年）に流入してくると仮定した土砂の量（堆砂容量6,000千 m^3 ）を比例配分したものの。